

II 平成29年度事業実施状況

食品の安全・安心への関心が高まる中、更に、畜産経営の大規模化、口蹄疫及び高病原性鳥インフルエンザの発生や海外からの家畜伝染病侵入の危険性が增大する等、畜産情勢が変化する中で、安全な畜産物の供給と畜産経営の安定を図るためには、家畜衛生対策を適切かつ円滑に推進することが重要である。

家畜保健衛生所では、家畜伝染病の発生予防と家畜疾病による損耗を防止するための予防衛生対策を講じるとともに、生産段階における家畜の飼養衛生管理基準遵守の徹底を推進するなど、状況の変化に的確に対応しながら各種事業を実施している。

1 家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号 以下「予防法」）の規定に基づき、家畜伝染病及び家畜伝染性疾病の発生とまん延を防止し、家畜飼養者をはじめ、獣医師、市町、関係団体等と連携し家畜防疫体制の強化を図る。

(1) 主な検査と対象家畜

予防法第5条の規定に基づく発生予防又は発生予察のため、主に以下の検査を実施した。

ア ブルセラ病、結核病及びヨーネ病

(ア) 搾乳の用に供し、又は供する目的で飼育している牛及びその同居牛

(イ) 放牧予定の乳用牛及び放牧場で飼育されている乳用牛

(ウ) 種付けの用に供し、又は供する目的で飼育している雄牛

イ ヨーネ病

(ア) 繁殖の用に供し、又は供する目的で飼育している肉用雌牛

ウ 馬伝染性貧血

(ア) 競馬に出場させる目的で飼育している馬

(イ) 乗馬クラブ等に飼育されている乗用馬

(ウ) 繁殖の用に供し、又は供する目的で飼育されている雌馬

(エ) 種付けの用に供し、又は供する目的で飼育している雄馬

エ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

100羽以上鶏を飼養している農場のうち、家畜保健衛生所長が選定した農場で飼養されている鶏

オ 腐蛆病

管内に飼育されている蜜蜂であって、家畜保健衛生所長が必要と認める蜜蜂

カ 牛のアカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症、イバラキ病及び牛流行熱

未越夏でワクチンを接種していない牛

その他、公共牧場に放牧された乳用牛に対する定期的な衛生検査(臨床検査、血液検査、寄生虫検査、牛体消毒等)、養豚場の清浄度を確認・維持するための豚コレラ、オーエスキー病等の検査、監視伝染病の疑いのある家畜及び不明疾病に対する病性鑑定等を実施した。

(2) 主な検診・検査等の概要

事業名	区分	実績 (頭羽群数)	検査結果(頭羽群数)			備考
			陰性	疑陽性	陽性	
検診・検査	ブルセラ病	6,496	6,496	0	0	告示 6,438頭 告示外 58頭
	結核病	6,496	6,496	0	0	告示 6,438頭 告示外 58頭
	ヨーネ病	17,656	17,646	0	10	告示 7,964頭 告示外 9,692頭
	牛海綿状脳症 (採材業務)	2,338	2,338	0	0	告示(県内牛)2,329頭 告示外(管内牛) 9頭
	ピロプラズマ病	1,316	1,311	0	5	放牧予定牛 951頭 放牧牛 365頭
	牛白血病	4,726	3,647	0	1,079	放牧予定牛 1,149頭 その他 3,577頭
	牛伝染性疾病検査	186,795	186,795	0	0	臨床検査
	馬伝染性貧血	68	68	0	0	告示 61頭 告示外 7頭
	馬伝染性子宮炎	1	1	0	0	細菌検査
	馬パラチフス	2	2	0	0	抗体検査
	馬伝染性疾病検査	69	69	0	0	臨床検査
	豚コレラ	150	150	0	0	抗体検査
	オーエスキー病	1,381	1,381	0	0	抗体検査
	PRRS (豚繁殖・呼吸障害症候群)	512	211	0	301	抗体検査
	豚流行性下痢	66	33	0	33	抗体検査
	豚伝染性疾病検査	273,014	273,014	0	0	臨床検査
	高病原性鳥インフルエンザ [※] 低病原性鳥インフルエンザ [※]	550	550	0	0	告示 430羽 定点モニタリング [※] 360羽 強化モニタリング [※] 70羽 告示外 120羽
	種鶏検査	118	118	0	0	告示
	鶏伝染性疾病検査	1,662,991	1,662,991	0	0	臨床検査
	腐蛆病	1,425	1,425	0	0	告示 1,061群 告示外 364群
その他	着地検査	5件				牛4件 98頭、馬1件 1頭
	畜舎消毒	1回				
	自衛防疫指導	4回				

(3) 家畜伝染病予防法第5条に基づく検査

ア 乳用牛繁殖雌牛のブルセラ病、結核病及びヨーネ病検査

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

同居の肉用繁殖雌牛についてヨーネ病検査のみ実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計	
検査戸数	25	45	5	39	2	116	
検査頭数	乳用牛	1,034	2,004	308	2,083	45	5,474
	肉用牛	24	64	0	210	0	298

【検査成績】 ヨーネ病：那須塩原市1戸1頭陽性（患畜）、その他は全例陰性

イ 肉用繁殖雌牛のヨーネ病検査（酪農家の飼養牛（298頭）を除く）

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	0	0	0	77	0	77
検査頭数	0	0	0	1,228	0	1,228

【検査成績】 1戸1頭陽性（患畜）

ウ 放牧予定牛のブルセラ病、結核病及びヨーネ病検査

※公共牧場に入牧予定の乳用育成牛を検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	16	41	3	18	4	82
検査頭数	110	345	22	434	37	948

【検査成績】 全例陰性

エ 種畜（種雄牛）のブルセラ病、結核病及びヨーネ病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	1	2	0	1	0	4
検査頭数	8	5	0	3	0	16

【検査成績】 全例陰性

オ 死亡牛の牛海綿状脳症（BSE）検査（法5条に基づく検査）

（搬入頭数）

市町	乳用牛		肉用牛		総計
	ホルスタイン	その他	黒毛和種	交雑種	
大田原市	233	3	9	0	245
那須塩原市	941	5	47	8	1,001
那須烏山市	38	0	12	1	51
那須町	196	6	33	0	235
那珂川町	25	0	12	0	37
	1,433	14	113	9	1,569

【検査成績】 全例陰性

※当所は、附属施設で死亡牛の受付、検体採取・送付（原則翌日）、死亡牛の一時保管及び陰性確認後の搬出作業を実施（月曜～金曜。土曜・祝日は受付・搬入のみ業者委託）

ELISA検査は県央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施（原則採材翌日）

カ 牛流行熱等抗体調査

病名	戸数	頭数	6月		8月		9月		11月	
			<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦
アカバネ病	9	27	20	7	24	3	26	1	27	0
チュウザン病			27	0	27	0	27	0	27	0
アイウirus感染症			27	0	27	0	27	0	27	0
イバラキ病			27	0	27	0	27	0	27	0
牛流行熱			27	0	27	0	27	0	27	0

※大田原市1戸、那須塩原市4戸、那須烏山市1戸、那須町2戸、那珂川町1戸

【検査成績】各疾病とも流行は認められなかった。

キ 馬伝染性貧血検査

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	0	6	0	0	0	6
検査頭数	0	61	0	0	0	61

【検査成績】全例陰性

ク 蜜蜂の腐蛆病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	13	14	5	3	11	46
検査頭数	408	307	67	80	199	1,061

【検査成績】全例陰性

ケ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

(ア) 定点モニタリング検査

毎月1回、管内の3農場において、6週齢以上の鶏10羽のウイルス分離検査と血清抗体検査を実施した（ウイルス分離検査は県央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施）。

対象農場	検査内容	検査成績
3戸 (大田原市、那須塩原市、 那珂川町)	ウイルス分離※ (気管スワブ、クロアカスワブ) 血清抗体検査	全例陰性

(イ) 強化モニタリング検査

10月から5月にかけて、管内7農場の鶏各10羽について、各農場1回血清抗体検査を実施した。

対象農場	検査成績
7戸 (大田原市2戸、那須塩原市2戸、 那須烏山市1戸、那珂川町2戸)	全例陰性

(4) 家畜伝染病予防法第51条に基づく検査

ア 牛のヨーネ病検査

牛のヨーネ病防疫対策要領に基づくカテゴリⅡ農場において、清浄化推進のための検査を実施した。

対象農場戸数	検査頭数		検査成績
	抗体検査	リアルタイムPCR検査	
10戸 (大田原市3戸、那須塩原市5戸、 那須町2戸)	4,959	3,038	10頭患畜 12頭自主とう汰

イ 牛白血病

抗体検査及び遺伝子検査により農場及び公共牧場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
抗体検査	82	2,197	388	1,809
遺伝子検査	1	67	55	12

ウ 豚コレラ

清浄性の確認のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	検査成績
15	150	全例陰性

エ オーエスキー病

清浄化対策推進のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	野外抗体 陽性頭数	野外抗体 疑陽性頭数	野外抗体 陰性頭数
22	1,376	0	0	1,376

オ PRRS (豚繁殖・呼吸障害症候群)

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
14	489	291	198

カ PED (豚流行性下痢)

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
6	60	33	27

キ ニューカッスル病

抗体検査結果をもとに適切なワクチン接種を指導した。

戸数	羽数	<2	2	4	8	16	32	64	128	256	512	1024	≤2048
28	276	36		10	21	25	37	42	30	31	24	13	7

ク 鶏マイコプラズマ病

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

病原体名	検査戸数	検査羽数	陽性羽数	疑似羽数	陰性羽数
マイコプラズマ・カリセプチム	34	340	148	2	190
マイコプラズマ・シヒエ			65	0	275

ケ 施設園芸用蜜蜂の腐蛆病検査

イチゴハウスで受粉に利用される蜜蜂の検査を実施するとともに、飼養者に対し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査群数	検査成績
17戸 (那須塩原市5戸、那須烏山市1戸、 那珂川町11戸)	99	全群陰性

(5) その他の検査

ア 放牧予定牛の検査

放牧場での伝染性疾病のまん延防止のため、放牧予定牛について各種検査を実施した。

病名	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
牛白血病	1,149	267	882
ヒロプラズマ病	951	3	948
BVD・MD	1,260	1	1,259

イ 放牧牛衛生検査

管内3か所の公共牧場において、定期的に放牧牛の衛生検査を行い、各種疾病の早期発見及び早期治療に努めた。

(ア) 放牧状況

区分	大田原市 大野放牧場		那須塩原市 八郎ヶ原放牧場	那須共同利用 模範牧場
	乳用牛	和牛	乳用牛	乳用牛
放牧期間	H29.4.13～ H29.11.6	H29.5.9～ H29.11.6	H29.5.16～ H29.10.11	H29.5.1～ H29.12.11
放牧頭数	26	43	56	329
衛生検査回数	9	8	8	9
主な疾病	なし	なし	真菌症	ヒロプラズマ病1頭 陽転、真菌症、 ハピローマ
備考				周年預託牛175頭

(イ) 衛生検査成績

a ピロプラズマ病

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場	0/5	0/12	0/14	0/14	0/9	0/7	0/7
八郎ヶ原放牧場		0/21	0/10	0/23	0/11	0/9	0/9
那須模範牧場		0/39	0/46	*2/53	*1/28	*1/26	0/22

*陽性牛は同一牛

b 牛肺虫症

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場					0/20	0/20	
八郎ヶ原放牧場					0/20	0/20	
那須模範牧場					0/20	0/20	

ウ 家畜伝染病予防法第52条に基づく報告徴求

高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザの発生予防に資するため、管内の家きん100羽以上（だちょうは10羽以上）を飼養する農場から毎月1回、1か月間の死亡羽数及び産卵率の報告を求めた。

区分	採卵	肉用	種鶏 (採卵)	種鶏 (肉用)	放鳥 (きじ)	展示 (だちょう)	計
1,000羽以上	12	3	2	2	2	0	21
100羽以上*	11	0	0	0	0	0	11
計	23	3	2	2	2	0	32

(6) 病性鑑定

原因不明の疾病について、獣医師や飼養者からの依頼により、原因究明の検査及び防除のための衛生指導を実施した。

ア 市町別の病性鑑定件数及び頭羽数

(総件数：延べ137件 総頭羽数：延べ667頭羽)

畜種	大田原市		那須塩原市		那須町		那珂川町		那須烏山市		計	
	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭羽数
乳用牛	13	22	30	397	13	91	1	6	6	19	63	535
肉用牛	12	18	25	33	11	18	6	8	6	18	60	95
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	1	10	1	1	0	0	0	0	1	2	3	13
緬山羊	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	4	4
鶏	0	0	1	3	1	6	0	0	1	4	3	13
その他*	1	1	3	6	0	0	0	0	0	0	4	7
計	27	51	60	440	29	119	7	14	14	43	137	667

*その他：環境等

イ 市町別の病性鑑定検査材料別の検体数

(総検体数：750 検体)

検査材料	大田原市	那須塩原市	那須町	那珂川町	那須烏山市	計
糞便	34	396	91	7	18	546
死体及び生体	17	56	14	1	9	97
血液	6	25	16	6	20	73
その他*	4	2	12	0	16	34
計	61	479	133	14	63	750

*その他：鼻腔拭い液、敷料、環境ふきとり等

ウ 平成 29 年度に診断された主な感染症

【牛】 下痢症：牛ロタウイルス病、牛コロナウイルス病、サルモネラ症、クリプトスポリジウム症、牛コクシジウム病、牛消化管内線虫症

呼吸器病：牛RSウイルス病、牛コロナウイルス病、牛パスツレラ（マンヘミア）症、牛マイコプラズマ肺炎

その他：牛ウイルス性下痢・粘膜病（持続感染牛）、偽牛痘

【豚】 豚流行性下痢

【鶏】 鶏コクシジウム病

【蜜蜂】 バロア病、アカリンダニ症